

ネピアアテンダー ケア通信 Vol.22

発行元: 王子ネピア株式会社
ケアサポート事業本部
東京都中央区銀座5-12-8
王子ホールディングス 1号館
編集・制作: 株式会社ジェイ・キャスト
発行人: 取締役 ケアサポート事業部長 山下千晶
発行日: 平成30年3月15日



介護業界の現在

認知症の在宅介護を可能にするプログラム

認知症の人に、妄想や興奮など行動心理症状が現れると、在宅での介護は難しいとされてきた。だがそれを可能にするケアプログラムを世界に先駆けて開発したのが、東京都医学総合研究所だ。心の健康プロジェクト・リーダーの西田淳志さんに聞いた。



東京都医学総合研究所
心の健康プロジェクト・リーダー
西田 淳志(にしだ・あつし)氏

2008年三重大学大学院医学系研究科・博士課程修了(医学博士)。同年、東京都精神医学総合研究所・研究員。2013年ロンドン大学客員研究員を経て2015年から現職。

れぞれが、行動心理症状のレベルを判定する。妄想、興奮、抑うつ状態など、12の指標について重症度を点数化し、タブレット端末などに入力して共有するのだ。西田さんは「複数で見ると、偏りがなくなる」と言う。さらに食欲、便通、睡眠などについて家族に聞いたうえで、全員で行動心理症状の原因を探り、ケアの方法を見つける。

も参加でき、症状は改善していった。

2018年にこうしたケアを半年間行い、従来型ケアを受けた人と比較した結果、前者には7点の改善が見られた。

「これは7日間行動心理症状があった人が、週1日に減少したレベルの改善です。そうすると在宅介護が可能になります」

この報告は国際的にも高く評価された。どの国も家族を教育してやらせるという方法で失敗してきたが、都の方法はケアスタッフが試行錯誤しながら成功させたからだ。

「百人百様のケア方法を見つけていく。目標を設定してダメならまた作り直す。時間も頭も使うけれど、スタッフは対象者に関心を持ち、知恵を働かせるので、ケアの質は確実に上がります。最初は大変でも、やっていくうちに、皆さん、コツをつかんでいきます」

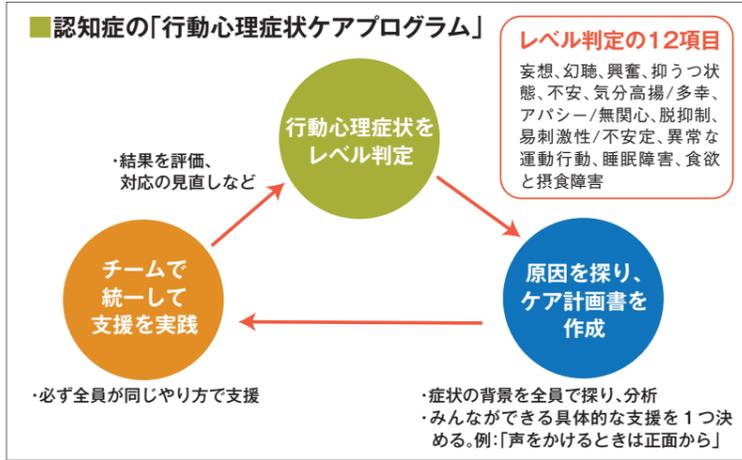
知恵を出し合うプログラムだから、たとえ職人的介護者がいなくても、誰もが取り組めるようがある。(文・西所正道)

認知症患者の行動心理症状は従来「問題行動」と言われ、抗精神病薬によって抑えつける対象と捉えられてきた。西田さんによると、認知症患者の24%に薬が処方されているという。ただ、副作用によって死亡する率は3〜4倍も上昇。欧米でも問題になっていった。

「そんな中、スウェーデンでは、行動心理症状を患者さんが発する意味あるメッセージと捉え、解決策を探るヒントとして使うプログラムを開発したのである。それによって施設に入所する認知症患者の症状が改善したという報告がありました」

西田さんらはこれを参考に「在宅」で認知症患者を介護するプログラム作りに一昨年着手した。

まず認知症患者に関わっているケアマネージャーやヘルパー、訪問看護師などのスタッフそ



職人技に頼らず 全員で考えるケア

興奮が強く、半年も入浴を固辞する介護困難な女性がいた。緊張をほぐす方法をスタッフ間で話し合った結果、バッグに氷川きよしのキーホルダーを発見。彼の音楽を流したが効果はなし。キーホルダーは鞆をなくさないよう娘が付けたのだった。貴重な情報はヘルパーからもたらされた。「家に五木ひろしのカセットがいっぱいあった。カセットをかけてみると女性はみるみる穏やかに。その後は入浴にも協力、デイサービスにも

こんにちは、ネピアです。職場のお話、聞かせてください。

一人ひとりに柔軟な対応を

◎小規模多機能型居宅介護事業所森の風(福島県福島市)
係長(ケアマネージャー) 角田裕二さん/看護師 大内ちづるさん
主任(介護福祉士) 井島明美さん/介護福祉士 丹野寛人さん

「福島市でも独居高齢者、老々介護等の問題が深刻となっております。でも、地域の皆さまはやはり自分の家で暮らしていきたいとの思いが強いです」

社会福祉法人陽光会が運営する「森の風」ケアマネージャーの角田さんは、そう話します。

この施設では、そんな高齢者の願いを、「通う/デイサービス」「訪問/ヘルパー」「泊まる/ショートステイ」、3つのサービスを

「ありがと」の言葉と笑顔が喜び

介護士の丹野さんは、「ご利用者とそのご家族の思いや悩みに身近に触れられるようになってきました。双方の思いに違いがあるとき、介護士が間に入ることでいい方向に向かうと、やりがいを感じます」と、目を輝かせました。

「ありがと」の言葉や笑顔が、何よりの喜びになります。



「ご利用者とそのご家族の思いや悩みに身近に触れられるようになってきました。双方の思いに違いがあるとき、介護士が間に入ることでいい方向に向かうと、やりがいを感じます」と、目を輝かせました。

「ありがと」の言葉や笑顔が、何よりの喜びになります。



角田ケアマネージャー

介護士の丹野さんは、「ご利用者とそのご家族の思いや悩みに身近に触れられるようになってきました。双方の思いに違いがあるとき、介護士が間に入ることでいい方向に向かうと、やりがいを感じます」と、目を輝かせました。

「ありがと」の言葉や笑顔が、何よりの喜びになります。

「ご利用者とそのご家族の思いや悩みに身近に触れられるようになってきました。双方の思いに違いがあるとき、介護士が間に入ることでいい方向に向かうと、やりがいを感じます」と、目を輝かせました。

「ありがと」の言葉や笑顔が、何よりの喜びになります。

「ご利用者とそのご家族の思いや悩みに身近に触れられるようになってきました。双方の思いに違いがあるとき、介護士が間に入ることでいい方向に向かうと、やりがいを感じます」と、目を輝かせました。

「ありがと」の言葉や笑顔が、何よりの喜びになります。

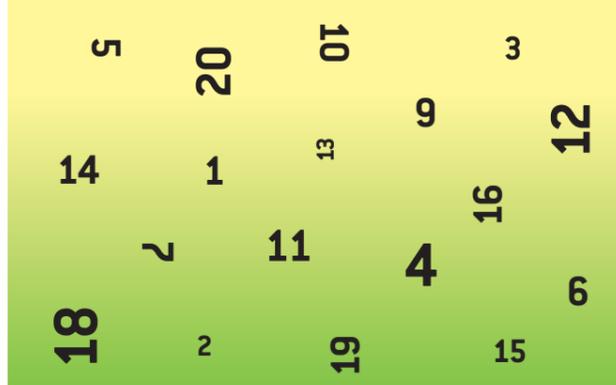
注目のトピックス

- 首相、外国人労働者の拡大検討を関係閣僚に指示
安倍首相は20日の経済財政諮問会議で、介護、農業などを中心に即戦力となる専門的な技能を持つ外国人労働者の受け入れ拡大への検討を関係閣僚に指示した。検討結果は、「骨太方針」に盛り込む。
2018/2/22 SankeiBiz
- 「高齢者の薬、減らして」厚労省が使用指針
厚生労働省は21日、高齢者に適正に医薬品を使うための医師・薬剤師向けの指針案を有識者会議に示し、了承された。指針では主な副作用を示し、薬の減量や中止で症状が改善することもあると指摘して減薬を促す。4月以降に正式決定し、現場への浸透を図る。
2018/2/21 朝日新聞

脳のアンチエイジング

消えた2つのナンバーを探せ!

問題 下の四角の中には、1から20まで連続した数字がランダムに配置されています。しかし、2つの数字が見当たりません。どの数字か、教えてください。できるだけ、メモをしないで考えてみましょう。



答えは裏面にあります。

公益性の高い地域福祉の拠点



社会福祉法人陽光会
理事長
坂井 邦昭氏

福島市を拠点に、障がい者福祉と高齢者福祉の両輪で40年近く地域に貢献しているのが、社会福祉法人陽光会です。理事長の坂井邦昭氏を、王子ネピア社長の清水紀暁が訪ねました。



天皇皇后両陛下が陽光園をご視察

施策と地域のニーズに添えていくことが求められますので、1992年には介護支援センターと、障がい者支援施設「清心荘」を開設しました。

清水 着々と事業を推進されていますね。昨年8月、小規模多機能型居宅介護事業所「森の風」をオープンされました。

坂井 同時期に定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所も開業しました。両事業は、地域包括ケアの要になるもので、

地域のみならず、施設よりも住み慣れた自宅で暮らし続けたいと、変わってきています。

清水 在宅介護を支える地域密着型サービスですね。新たな人材の採用なども大変でしたか？

坂井 3年の準備期間があり、職員募集は早く始めました。状況は厳しかったのですが、なんとか対応してきました。

清水 森の風—とてもいいネーミングですね。

坂井 施設名は、職員の公募で決めました。ここは、もと河川敷と松林だったのを切り開いて、施設を作ってきました。公式ホームページも職員の手作りです。

清水 素晴らしいですね。陽光会は、福島県家庭教育応援企業に認定されていますね。

坂井 良好な家庭環境を築くには、親のゆとりも大切です。就業規則や福



王子ネピア株式会社
代表取締役社長
清水 紀暁

利厚生の整備・充実に取り組み、働きやすい環境づくりに努めています。

清水 大事なことです。そうですね。天皇皇后両陛下が陽光園を視察なさったことがあると知って驚きました。

坂井 1995年、ふくしま国体秋季大会の折でした。ご利用者がモザイク貼り絵などをする様子を熱心にご覧になり、お帰りの際には見送る職員一人ひとりにお声をかけてくださり、大変感動したそうです。

清水 95年は阪神・淡路大震災が起きた年でした。東日本大震災のときは、大変でしたね。

坂井 幸いにも建物は大丈夫でしたが、ライフラインが止まった数日間、職員で炊き出しをしました。陽光園では被災された高齢者10人を受け入れ、今も2人残っています。

清水 実は、当社は震災前に福島工場の建設を記者発表しました。計画通りに建設したのは、当社だけだったそうです。お

親の会などの支援を受け設立されました。翌年は国際障害者年がスタート、5月に障がい者支援施設「大蒼荘」を開所しました。

超高齢社会に向けた対応を考える



左から陽向会・佐藤常務理事、同・小野副理事長、清水社長、坂井理事長、ネピア山下本部長

テnderサポート便り vol.13

松下看護専門学校で「おむつ講習会」開催 学生が熱心に装着体験を！

昨年7月、大阪府守口市の松下記念病院にネピアの紙おむつをご採用いただきました。当社カウンセラーによる各病棟での勉強会がきっかけとなり、松下看護専門学校から特別講習会の開催を依頼されました。

11月28日、授業時間外に開催した特別講習会には、65人もの学生が参加して、同校教務部の中野先生を驚かせました。

講習会は、おむつの知識習得と装着体験で構成。まず、紙おむつの種類や機能・構造について解説しました。通気性の実験やポリマーを実際に触っておむつの中も観察。

次に、実践です。学生が、テープタイプの紙おむつを実際に当てる装着体験をしました。どの学生もノートが真っ黒になるくらい書き込みをしているほか、実技ありの多人数での講習にもかかわらず、きびきびとしたムダのない動きに感心しました。

終了後、ワツと学生が駆け寄ってきて質問が次から次へと続きました。また、学生同士が自主的に当てる練習をする場面も見られ、皆さんの熱意と心のありように、講師も感動した講習会となりました。

(王子ネピア カウンセラー・竹村和子)



【中野先生・学生の声】

●講義は期待以上の内容で、おむつの専門的な知識とすばらしい技を教えてくださいました。きっと学生たちは、臨地実習で今日の学びを活かして、おむつのケアを実践すると思います。(教務部 中野珠枝先生)

●今回、テープのつけ方による可動域の違いや、漏れを防ぐ方法などを学べて良かったです。機能性や漏れを防ぐだけでなく、患者さんのおむつに対する思いをふまえて考えることも大切だと学びました。ありがとうございました。(学生)

●患者体験でおむつを実際につけました。適当につけてみると、とても気持ち悪いです。しかし、教えてもらったとおり、正しくつけてみるとびっくりです！これぞプロの技!! (同校HPから抄録)

*松下看護専門学校は、1973年開校、パナソニック健康保険組合に所属し、同系列の松下記念病院での研修を中心とした専門学校です。創業者である松下幸之助氏の「人間尊重」を教育理念の基礎に据え、看護師育成に取り組んでいます。



10人のプロが笑えます

全日本おむつ団 all nippon omutsu dan

ボランティア演芸会

大分県別府市 医療法人聡明会「児玉病院」

王子ネピアでは、東西の有志落語家・エンターテイナー10名による「全日本おむつ団・ボランティア演芸会」を支援しています。

3月6日、大分県別府市の「児玉病院」で、全日本おむつ団の団長・笑福亭鶴笑師匠による「ボランティア演芸会」が開催されました。当日を楽しみにされていた方たちで会場は満員！出陣音が鳴り、師匠が登場されると、歓声が上がりました。師匠は、ご当地ネタや時事ネタなどを織り交ぜた落語で会場の皆さまと掛け合いをしながら演目を進めていきます。特に切り絵で「くまもん」を披露すると、会場はひととき盛り上がり、その勢いのまま、パペット落語へ。3D映画ならぬ、お手製の人形が躍動する3D落語で会場を沸かせていました。あっという間の1時間で、終演後の皆さまは満面の笑顔でした。また、「児玉病院」では毎月1回「笑いヨガ」が開催されており、この日は同日開催、落語とヨガのコラボで「笑い・笑い」の絶えない一日となりました。

